

## 第 24 回根研究集会に参加して

山 影 茜

富山大学大学院理工学研究科生物学専攻

第 24 回根研究集会が 2006 年 5 月 20-21 日に、東京都八王子の拓殖大学において開催されました。私は、今回で 3 回目の参加となり、前回の根の研究会に続きポスター発表をさせていただきました。

特別講演では、Thomas L. Rost 博士と鳥山英雄博士が講演されました。Rost 氏の講演は、根の先端分裂組織型と根の成長との関連性や、根冠の境界細胞 (Border cell) の産生と放出についての興味深い講演でした。品種間で根の先端分裂組織型や境界細胞の数や生存率が異なっており、これらの比較の重要性も強く感じました。

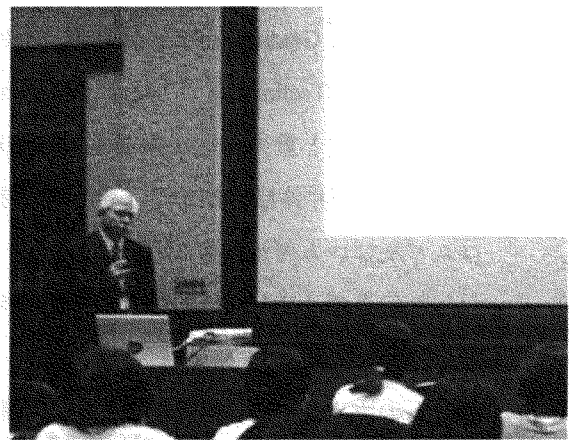
鳥山博士の講演は、マメ科植物の根端の内鞘における染色性の異なる細胞の原形質を観察する組織学的な研究についての講演でした。植物細胞・組織の顕微鏡標本作製にあたっては、固定液・染色液が細胞に及ぼすダメージまでしっかり留意して、観察を行っていかねばならないと感じました。

一般発表としては口頭発表が 8 演題、ポスター発表が 15 演題の発表がありました。湛水処理や水分ストレスを扱った研究が多く、作物の生育と土壤水分のバランスの難しさや水田転換畑利用を見据えた圃場実験の実情を知ることができました。口頭発表・ポスター発表ともに余裕のある発表時間で組まれており、発表者による詳しい説明でより理解が深まりましたし、また私自身のポスター発表では多くの方にご意見・ご助言をいただくことができ、とても充実したものになりました。

今回の根の研究会では、20 日の懇親会の後に「バトル討論会」が開かれ、主に院生の研究紹介・研究の成果、悩みなどの話題が提供され、夜遅くまで大変盛り上がり、先生方や先輩方から非常にたくさんのお話をうかがうことができました。今後研究生活を進めていく上での心意気やコツ、実験のアドバイスをいただきとても参考になりました。

その後には若手だけの懇親会が夜遅くまで行われ、他大学の学生さん方と自分の研究について、将来の進路、悩みをじっくり話し合うことができました。また、博士課程を終えられ研究職に就かれた先輩方から若手研究者を取り巻く環境、ご自身についてのお話は大変興味深いものでした。学会を通して多くの方に出会える機会に恵まれ、このつながりが今後の研究の励みになっていくと思います。

このように有意義な根研究集会を計画・実行して下さった仁木輝緒先生をはじめ、実行委員の皆様へ深く感謝し、根研究集会のますますの発展を心より願っております。



Thomas L. Rost 博士 (特別講演)



大変盛り上がったバトル討論会

2006 年 5 月 29 日受付

\* 連絡先 〒930-8555 富山市王福 3190 富山大学理学部生物学科  
Fax: 076-445-6549 E-mail: m0540312@ems.u-toyama.ac.jp